

# 透析用カテーテルに関する感染症の研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院腎センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年11月16日 ～ 2024年12月31日

## 〔研究課題〕

当院腎臓内科病棟における透析用短期留置カテーテル関連感染症発症の現状と課題を抽出する。

## 〔研究目的〕

当院の感染率の現状を把握するため、2019年1年間に当院の腎臓内科病棟に入院し、透析用短期留置カテーテルを挿入し、透析を受けていた患者を対象にカテーテル管理の現状を調査し、関連感染症発症率を算出、先行研究と比較し、当院のカテーテル管理における課題を抽出し、感染率の低下へ繋がります。

## 〔研究意義〕

血液透析患者にとって短期留置カテーテル関連感染は重篤な合併症の1つであり、感染を発症することで入院期間が長期化し、病態を悪化させる要因となるため、当院のカテーテル管理における課題を抽出し、感染率の低下へ繋がります。

## 〔対象・研究方法〕

対象：2019年1月1日～2019年12月31日に当院腎臓内科病棟に入院していた短期留置カテーテル留置患者全60例

研究方法：病棟看護師が透析用カテーテル血流感染サーベイランスワークシートを作成し電子カルテより情報を収集、分析し感染率を算出します。

算出した感染率とDSN-J参加施設の感染率と比較、分析結果から感染率減少に繋がる対策を検討します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院看護部腎センター

## 〔個人情報の取り扱い〕

倫理委員会事務局に提出後、帝京大学臨床研究センターにおいて原本、およびスキャンにより電子化されたデータを、10年間、施錠された鍵棚に保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 渡利 元気 職名 係員

研究分担者：氏名 清川 慎太郎 職名 係員

所属： 帝京大学医学部附属病院 看護部 腎センター

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 32310 ]